



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1995-96

Act with Integrity
Serve with Love
Work for Peace

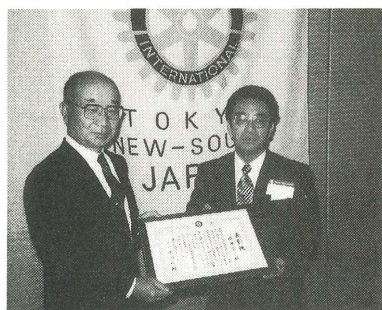
真心の行動 ● 慈愛の奉仕 ● 平和に挺身
1995～96年度・国際ロータリーのテーマ／ハーバードG.ブラウンR.I.会長

●本日の例会 5月24日／第463回例会

■卓話 「国際交流について」

特殊法人 国際交流基金理事長 浅尾 新一郎 氏

●先週報告 5月17日／第462回例会



■会長報告・職業奉仕委員会報告「職業奉仕表彰」

職業を通じて地域社会へ貢献された方として横井宗一氏を表彰しました。本日クラブ例会に横井宗一氏をお招きいたし表彰式を行い、表彰状と金一封を贈呈いたしました。横井氏よりお礼のお言葉が有りました。

—— 横井宗一氏の紹介 ——

昭和18年2月21日生まれ、昭和40年大学卒業 民間企業に勤務、昭和48年荒川区社会教育課社会局指導員（非常勤）、昭和52年港区教育委員会教育主事

■幹事報告

6月14日(金)例会後、本年度第6回・新年度第1回クラブ協議会を「本年度各委員会活動報告と新年度各委員会活動計画」のテーマで開催いたします。本年度各委員会委員長は「本年度各委員会活動報告書」を6月7日までに事務局へ提出下さいますようお願い申し上げます。

■社会奉仕委員会報告（入沢委員長）防災施設見学体験バスツアーの件

港区民を対象とした上記バスツアーを来たる6月13日(木)開催致します。会員席も若干用意しましたので、ご希望の方はお申し出下さい。

■親睦活動委員会報告（川鍋委員長）

親睦活動委員会の本年度最後の活動として第2回新会員歓迎会並びに年度末打ち上げ会を6月13日(木)18:00よりニューサテライトホテル芝浦にて行ないます。当日はにぎり寿司コーナーをはじめ和・洋・中のコーナーを設け、テーブルにてお食事を楽しみながら6名の新会員に歓迎の意を表すと同時に1年間の思い出を皆様と語り合いたいと思います。どうぞ奥様お誘いの上多くの方のご出席をお願い致します。

■出席委員会（吉岡委員長）

相変わらず修正出席率は良く有りません。4月は88.37%です。残り2ヶ月、是非90%目指して更に御協力をお願いします。

■出席報告 ● 会員73名・出席52名・欠席21名（出席規定免除者4名）

ビジター（10名 敬称略）／吉澤審一、名倉公雄（以上東京）、米倉健司（東京豊島東）、野口照久、鈴木三彌（以上東京西）、内田和也（東京銀座）、中根 宏（東京芝）、矢橋信雄、保科 正、杉山民治（以上東京南）

ゲスト／横井宗一氏（港区教育委員会教育主事）

■卓話 イニシエーションスピーチ 「観光立国とホテル」

5月17日

当クラブ会員 ㈱観光企画設計社代表取締役社長 柴田 陽 三



21世紀最大の産業は観光関連産業だといわれているが、現在日本への外人訪問客は僅か400万人足らずで香港、シンガポール等より少なく、欧米諸国の1/10程度に過ぎない。

反面、日本人の出国数は1500万人を超え、バランスがとれていない。その理由としては円高と物価による面が大きいが、空港やホテル等施設面の未整備に負うところが大きい。又、日本人が好んで外国に向かう原因を尋ねてみると日本の観光地に魅力が

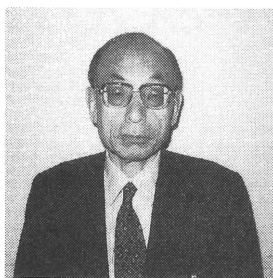
足りないとの答えが返ってくるし、ビジネスの空洞化も否定出来ない現状である。

これに対し、政府も漸く「観光立国」の必要性を感じ、運輸省を中心に「ウェルカムタウン構想」を展開し、大都市におけるホテルの客層拡大及びアジア地域からの誘客、中心都市、リゾート地域の施設整備、サービス業ソフトの充実に向けての施策を推進しようとしている。

この事は「前川レポート」等により産業構造の転換と内需拡大の必要性が叫ばれてきたが、その流れに副うものであり、現在の「真の豊かさ」を求める価値感の変化、及び「真の国際化」への大きな貢献に通じるものである。

●新会員のご紹介 (96年5月17日ご入会)

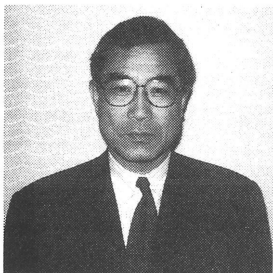
マキ ノ キチ ロウ
牧 野 吉 郎 君



生年月日 1932年1月5日生 (64歳)
事業所 ㈱ニッコトラスト
役職 代表取締役社長
所在地 〒100 千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル
TEL 3279-4451
FAX 3279-4467

職業分類 諸施設給食業
住所 〒181 三鷹市上連雀7-3-4
TEL 0422-45-4998
推薦者 鍋島 晴夫君
保森 登君

タニ ヨシ カズ
谷 義 一 君



生年月日 1941年8月26日生 (54歳)
事業所 谷・阿部特許事務所
役職 所長
所在地 〒107 港区赤坂5-1-31
第6セイコービル3F
TEL 3589-1201
FAX 3589-1206

職業分類 弁理士・意匠
住所 〒152 目黒区東が丘2-8-12
TEL 3418-3680
推薦者 山川 政樹君
四分一 勝君

●ロータリー情報 「ロータリー・ボランティアが阪神大震災の被災留学生のために住宅を建設」

1995年、日本の神戸地方を襲った大震災でも失われなかったのは、人々のボランティア精神です。3カ月間という電撃的速さで、約400人のボランティアは被災者を収容する住宅2棟を建設しました。

「ロータリー・フレンドシップ・ハウス」および「子供のためのロータリー・リハビリ・センター」と呼ぶこれらの新しい建物は、住む場所を失ったり、手持ち資金が少ない留学生、また親を亡くした孤児など、立ち直るのが困難な被災者のために建てられたものです。

プロジェクトは、被災したR1第2680地区のメンバーが、日本および世界中から寄せられた義援金を使って計画し、ロータリアン、ローターアクター、インターアクターのチームが7月から9月まで、天候に関係なく、作業に取り組みました。

建設の指揮をとったのは、プロジェクト委員長の今井鎮雄R1理事とロータリー会員が社長を務めるスウェーデ

ンの住宅会社と、神戸西ロータリー・クラブの会員です。

「留学生にとって下宿費は大きな負担です」と今井理事は語ります。「このプロジェクトは、国境を超えて他人に援助の手を差し述べるというロータリーの理念を具体化するものです」

「ロータリー・フレンドシップ・ハウス」は、木造2階建てで、個人部屋と2人部屋からなり、18人の学生を収容できます。入居者は、神戸地域の大学に通学する留学生が提出した申請書の中からロータリアンが選びました。

「子供のためのロータリー・リハビリ・センター」の受け入れ児童には、ロータリアンと福祉関係者により、震災で親を亡くした孤児とその他の子供たち約50人が選ばれました。センターは2年間をメドとして子供たちに住まいと世話を提供することになっています。

「Rotary World」より

ニコニコBOX

順不同・敬称略
5月17日/18件 69,515円
95~96年度累計2,040,078円
多額のご寄付を有難うございました。

山川政樹/牧野さん谷さんの入会を歓迎します。保森 登/9年間皆勤賞を戴きました。伊部和夫/3回目の100%出席でした。4回目を目指します。山下忠治、小原 健、柴藤清三郎、吉田用親、平井逸夫、四分一勝、岩瀬秀郎、馬場一廣、石坂二郎、河原勢自、宮本正祥、小杉真史、新保國彦、大日方真、後藤信夫
(コメントの一部を省略させていただきました。)

●次週予告

5月31日/第464回例会

■卓話予定 イニシエーションスピーチ
「インターネットあれこれ」

当クラブ会員・㈱富士通ビジネスシステム専務取締役 小 杉 真 史 君

東京新南ロータリークラブ

会長：山川政樹 副会長：柴藤清三郎 幹事：関 征春
〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

荒木 昭文、清原 元輔、青野 信次、
植田 和男、後藤 信夫、新保 國彦、
相澤 成憲、吉田 用親、高橋 良士、
吉岡 琢磨、大村 富俊(編集担当順)